※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１８

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語演習Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	評論・小説クリアシリーズ　現代文グレートラーニング 40 レベル２（尚文出版） 読解現代文必携　キーワードの卵（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・語彙の習得は文章を読む基本です。自主的・計画的に漢字ノートに取り組みましょう。
・身に付けた語彙を活用し、さまざまな文章を読んだり、書いたりする力を身に付けましょう。
・授業のノートや漢字のノートも評価対象になります。工夫したノート作りを心がけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる.
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる. ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において，論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	文脈・構成の把握 [教材]『変われる国・日本へ』 『哲学の現在』 『ぎぶそん』 『聖の青春』他	a:語彙の量を増やし語彙を豊かにする。 b[読]:様々なテーマの文章について問題演習を行い、その文脈や構成を把握することができる。 c:要約について学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	授業態度 予習・復習 要約文
	内容・心情の理解 [教材]『教育力』 『ほおずきの花束』 『国家の品格』他	a:重要語句について学ばせる。 b[読]:様々なテーマの文章について問題演習を行い、その内容や、登場人物の心情について理解することができる。 c:要約について学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	授業態度 予習・復習 要約文
2学期	理由説明の読解 表現の鑑賞① [教材]『桜の実の熟する時』 『テイスト　オブ　パラダイス』 『老いる準備』他	a:評論文の重要語句について学び、使いこなすことができる。 b[読]:様々な設問形式の解答方法についてさらに深く学び、その記述の理由や、表現について理解することができる。 c:要約について学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	授業態度 予習・復習 要約文
	理由説明の読解 表現の鑑賞② [教材]『地球システムの崩壊』 『荷風を読んで』 『卒業写真』	a:評論文の重要語句について学び、使いこなすことができる。 b[読]:様々な設問形式の解答方法についてさらに深く学び、その記述の理由や、表現について理解することができる。 c:要約について学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	授業態度 予習・復習 要約文
3学期	主旨主題の把握 [教材]『橋』 『きみの友だち』 『科学者心得帳』	a:評論文の重要語句について学び、その語句を使って小論文を書くことができる。 b[読]:評論文の記述問題の演習を行い、その文章の主旨主題を把握することができる。 c:要約について学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	授業態度 予習・復習 要約文

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間